

サクラマスを育む川～鮭川のレシピ～

小学校低学年 小学校高学年
 小学校中学年 中学校

ESDの要素

持続可能な社会づくりの構成概念

- 多様性
- 相互性
- 有限性
- 公平性
- 連携性
- 責任性

ESD視点で育みたい能力/態度

- 【批判】批判的に考える力
- 【協力】他者と協力する態度
- 【未来】未来像を予測して計画を立てる力
- 【関連】つながりを尊重する態度
- 【多面】多面的、総合的に考える力
- 【参加】進んで参加する態度
- 【伝達】コミュニケーションを行う力

プログラムの目標

- ①サクラマスとヤマメの違いとその要因について理解する。
- ②サクラマスが減少傾向にある現状とその要因について理解する。
- ③地域に古くから伝わる川魚文化の価値を理解する。
- ④河川の環境を理解と保全に向けた取り組みを考える。

プログラムの概要

サクラマスは生まれた後およそ一年川で暮らすが、その間の環境により海へと降るサクラマスと川に残留するヤマメに分かれる。成育には豊かな河川環境と海との連続性が不可欠であることから、地域の自然環境を図る指標とされているが、近年徐々に数を減らし環境省の準絶滅危惧種に指定された。山形県では県魚として親しまれてきたが、様々な要因により資源量が減少しており、行政等による対策もはじまっている。本プログラムではサクラマスの生態を学習し、地域に古くから伝わる川魚料理に触れることで、その価値を理解し、個人や地域レベルで保全に向けた取り組みを実践できる人材育成を目指す。

学習指導要領との関連

学年	小学校6年	小学校5年	小学校5・6年
教科/領域	理科	社会	総合的な学習の時間
学習内容	B生命・地球 (3) 生物と環境 動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境との関わりについて考えを持つことができるようにする。 ア.生物は、水および空気を通して周囲の環境と関わって生きていること。 イ.生物の間には食う食われるという関係があること。	(1) 我が国の国土の自然の様子について、次のことを地図や地球儀、資料を活用して調べ、国土の様子が人々の生活や産業と密接に関連を持っていることを考えるようにする。 イ.国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活 エ.国土の保全などのための森林資源の働きおよび自然災害の防止	環境



地域の多様な自然環境が豊かな恵み（資源）を生みだし、様々な産業や文化を育む。そして、資源を効果的に利用することが自然環境を守り地域を豊にする多様性を示すプログラムである。



地域資源を活用した取組みを行っている組織との交流が出来る。



地域の川とサクラマスの現状から、保全に向けた取組みを考えることが出来る。



サクラマスの減少の要因を河川環境や川との関わりという観点から多面的に考えることが出来る。

持続可能な社会の
構成概念

ESDで育
みたい
能力／
態度

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕		
1時間目	サクラマスとヤマメの違い		批判	未来
	それぞれの生態を知り、分かれるターニングポイントを予測する	・ 餌を多く食べることが出来た方が川に残りヤマメとなり、餌を食べられなかった方が海へ降りサクラマスとなることを疑似体験する〔エサを模した紙など〕	多面	伝達
			協力	関連
			参加	
2時間目	サクラマスとヤマメの違い2		批判	未来
	外観を比較したり、解剖し身の色などを比較する	・ 体型や模様などの外見上の違いや身の色や脂肪等の比較から、なぜ違いが生まれたか理由を考える〔解剖セット〕	多面	伝達
			協力	関連
			参加	
3・4時間目	地域の川魚文化		批判	未来
	川魚を利用した郷土料理をつくる	・ 郷土料理や川魚の保全に関わる話を聞く〔調理器具〕	多面	伝達
			協力	関連
			参加	

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕	
5～7 時間目	地域の川の現状と保全に向けた取組み		批判
	地域の川とサクラマスを理解し、保全に必要な取組みを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・サクラマスが生息する(しない)川の環境を評価する ・川に関わる食文化から川の環境を評価する ・地域の川の保全に向けた取組みを考える 	未来
			多面
			伝達
			協力
			関連
			参加

※なお、プログラムのモデル化に当たっては、フォールドにおける生き物観察は行わずに、鮭川に生息するサクラマスをメインに取り上げ、その生態を比較や解剖を通して学ぶとともに、川魚文化にも触れることで、地域の自然環境への理解を深めた。

地域プログラム化メンバー、実証協力校等

地域プログラム化メンバー

- ・ 鮭川村食生活改善推進協議会
- ・ 鮭川村サーモンロードの会
- ・ 鮭鱒部会鮭川支部
- ・ 宮城教育大学
- ・ 広瀬川市民会議
- ・ 特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク

実証団体

- ・ カワラバン

実証協力校等

- ・ 鮭川村立鮭川小学校
- ・ 鮭川村中央公民館